



## 抵抗権としての芸術

## ~沖縄から見える日本

Art as the right of resistance

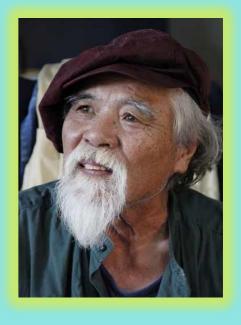
2018年

11月13日(火)

13:30~15:00

場所

関西学院大学上ケ原キャンパス図書館ホール Kwansei Gakuin University, Library Hall



講師

## 金城 実(彫刻家) Minoru Kinjo (Sculptor)

司会: 李 恩子(関西学院大学国際学部教授)

M C: Eun Ja Lee (Kwansei Gakuin University, School of International Studies, Professor)

通訳(日⇒英):村山 由美(関西学院大学非常勤講師) Interpreter: Yumi Murayama (Kwansei Gakuin University)

NHK, ETV などで度々その実像が紹介されている沖縄の彫刻家金城実氏を招いて講演を招いて講演を開催する。金城氏は長年高校の英語教師をしながら彫刻という媒体でその表現活動をして来られた。そのテーマは戦争、平和、型はです。金城氏の表現活動とです。金城氏の表現活動とです。金域氏の表現活動と本土の内間題提起される沖縄と本土の人間となる問題、沖縄と本土の人間の表現に向けてその長年の「哲学」などを語ってという。そしてこのグローバルな時代に芸術ともう。そしてこのグローバルな時代に芸術とうっ。そしてこのグローバルな時代に芸術とあるずれ、文化構築のたということを考える場にできるのかということを考える場にで参加ください。

Minoru Kinjo is a well-known artist who was born in Okinawa. He has been involved in various social and political debates relating to Okinawa, including the issues of US bases there, and discrimination against Okinawa and Okinawans in mainland Japan.

His life's work has been to ask whether art can be used as a "tool" to bring about peace and liberation for oppressed people. Participants in the event will be able to consider their own potential roles in social transformation.

主催:関西学院大学国際学部 国際学研究フォーラム